

2025 年を見据えた 泉大津市における地域包括ケアシステムの深化・推進の取り組み

～高齢者がいきいきと輝く(元気、ナンバーワン)地域づくりのために～

地域包括ケアシステムの深化・推進

要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域づくりへの取り組み

- ①在宅医療・介護連携の推進への取り組み
- ②認知症施策の推進への取り組み
- ③包括ケア会議（地域ケア会議）の拡充
- ④生活支援サービスの充実・強化への取り組み
- ⑤介護予防・フレイル予防の取り組み
- ⑥住まいのあり方を考える取り組み

包括ケア会議の拡充

多職種による個別の対応困難ケース等の検討を通して地域課題を確認し、行政に対して解決に向けた提言を行う。（地域包括ケアシステムの実現のための有効なツールであり、更に取り組みを進めることが重要。）

- ①地域包括ケアシステム構築会議：各専門部会からの提言を統括し、「泉大津版の地域包括ケアシステム」深化・推進について検討
- ②権利擁護部会：個別ケースの課題分析による地域課題抽出
- ③自立支援部会：高齢者の自立支援に資するケアプラン検討
- ④認知症部会：認知症高齢者の実態把握と支援の検討
・地域課題の把握 ・地域づくり、社会資源の創設

高齢者等安心して生活ができる暮らしやすいまちづくりへ地域が抱える生活課題について地域住民と関係機関が連携して解決に向けて取り組む「我が事・丸ごと地域福祉の推進」

住まいのあり方を考える

住み慣れた場所で安心して暮らすための取り組み

- 【総合相談】**
- ◆ 総合相談において高齢者の様々な課題についての相談を受け出来る限り住み慣れた地域でその人らしく、人生の最期まで住み続けられるよう情報提供等の支援を行う。
- 【関係機関との連携】**
- ◆ 悪質なりフォーム業者による被害防止（消費生活相談等との連携）
 - ◆ 福祉なんでも相談：判断能力低下後（認知症・精神障がい等）の住まい・成年後見制度・公正証書遺言・死後事務委任契約等
 - ◆ ㈱UR コミュニティ泉北住まいセンターウェルフェア業務課と連携した助松団地相談会の実施 R5年9月21日（木）（7名）
R5年11月17日（金）（14名）

令和5年度版



生活支援サービスの充実・強化

生活支援サービスの充実を図ることにより、高齢者等が利用可能な多様なサービスが地域で提供できるまちづくりの取り組み

- 【体制づくり・連携】**
- ◆生活支援コーディネーターの配置（我が事・丸ごとの地域福祉推進）
 - ◆高齢者等が利用可能な活動場所（ラジオ体操等開催場所一覧）の作成
 - ◆多様な居場所づくり（サロン・カフェ等）や生活支援活動等、社会資源創設への取り組み（泉大津市ささえあう地域づくり協議体等）
 - ◆助松団地住民へのアンケート調査の実施（一人暮らし高齢者へのアンケートの実施）→ 協議体と連動し住民主体の居場所の検討
 - ◆フォーラムを契機に就労継続支援B型、子育て支援センター等との連携
- 【市民啓発】**
- ◆地域支え合いフォーラム・地域づくり出前講座の開催
居場所づくり・子育て／世代間交流・担い手の養成をテーマにしたフォーラムを計4回開催
どこでもコミュニティ等を活用し、地域づくりの出前講座を計6回実施
- 【担い手育成】**
- ◆生活支援の担い手育成（家事エンジャー養成研修会）
第17回：R5年7月4日（火）・11日（火）・18日（火）（修了者7名）
第18回：R6年1月16日（火）・23日（火）・30日（火）（修了者12名）
 - ◆ボランティアセンターと連携し、個人ボランティアの活動支援を実施

在宅医療・介護連携の推進

- 医療と介護が必要となっても住み慣れた地域で住み続けられるよう、在宅医療・介護連携を推進する。
- 【体制づくり・連携】**
- ◆在宅医療・介護連携コーディネーター（地域包括配置）：在宅医療・介護連携を支援する相談窓口
 - ◆和泉保健所管内広域での在宅医療・介護連携コーディネーターとの連携
 - ◆イカロスネット等を通して医療・介護連携を強化し、在宅療養生活を支えるための多職種連携強化に取り組む。
 - ◆在宅医療・介護連携推進事業(1)(2)(3)(4)に基づく体制の構築
- 【研修・検討会】**
- ◆医療・介護の専門職向け研修会の開催（イカロスネット、iZak）
>イカロスネット事例検討会⇒R5年12月2日（土）『ロコモとサルコペニア・フレイル
～ 予防のためにまず実態を知ろう！ ～』
>iZak 研修会⇒R5年7月6日（木）『フレイルとフレイルチェック
～ オーラルフレイル・アイフレイル・スキンフレイル～』
R6年1月18日（木）『看取りの壁は恐れ
～ 将来の変化に備えて医療やケアについて話し合ってみよう ～』
 - ◆病院・在宅医療と介護の課題を検討（地域医療ケア検討会）構成員検討中
 - ◆大阪府在宅医療普及推進事業 R6年2月8日（木）『多職種のためのACP
～ 将来の変化に備えて医療やケアについて話し合ってみよう ～』
 - ◆在宅医療フォーラム『人生100年時代～医師から学ぶ“カマタ式”健康づくり・・・～』

認知症施策の推進

認知症の人ができる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるための取り組み

- 【市民啓発】**
- ◆ オレンジ手帳(ケアパス)の改訂R5年8月：認知症の態態に応じた医療・介護の情報提供
 - ◆ 認知症サポーター養成講座の開催：11回773人受講（R6年2月末時点）
 - ◆ サポーターステップアップ講座：だんじり関係者①R5年7月1日（土）②R5年7月8日（土）
修了12名、補講R5年7月22日（土）：GHあびこ花火大会・1名参加
 - ◆ だれでも challenge (RUN 伴後継イベント)：R5年10月15日（日） 参加者（イベント保険記入者）+従事者、ボランティア等で70名超
 - ◆ 世界アルツハイマーデー：南海泉大津駅ポスター掲示1週間（R5年9月15日（金）～21日（木））、R5年9月社協広報に記事掲載、シープラにて関連展示
 - ◆ 認知症フォーラムR5年9月2日（土）：「キオクでつながる私たち」参加73名 昭和レトロ家具展
 - ◆ 認知症啓発映画上映会R5年12月17日（日）：「ぼけますから、よろしく願います。お帰りお母さん」参加336名
- 【相談・対応】**
- ◆ 認知症初期集中支援チーム事業（チーム数：4チーム、サポート医6名）対象15名
 - ◆ 出張認知症・介護相談会の取り組み（市立図書館シープラ R5年5月23日（火）、8月22日（火）、11月28日（火）、R6年2月27日（火））相談5件
 - ◆ 認知症カフェ支援（相談、交流、居場所など）：一隅を照らす庵、風街、紅排院ハマダ、あびこ
 - ◆ 認知症オープンカフェの開催：R5年5月20日（土）泉大津野外映画フェス
- 【本人・家族支援】**
- ◆ Come e come e 倶楽部：若年性認知症の人と家族によるつどい（岸和田やんちゃ倶楽部主催）
- 【専門職研修・支援】**
- ◆ 認知症キャラバンメイト交流会（R6年2月14日（水））参加メイト22名+だんじりチームオレンジ4名

介護予防・フレイル予防

高齢者自身が日常生活の活動性を高め、適切な運動や栄養、社会参加で心身の機能を維持・回復を図る。

- 【市民啓発】**
- ・「かいごぼう体操」、「筋力アップ体操」パンフレット配布・筋力アップ運動のDVD動画配布
 - ・「口腔・フレイル予防 ロビー展示」 ・口腔ラジオ放送
 - ・市のHPに、運動や熱中症対策の動画を掲載 ・シーパスパークイベントであしゅび測定
 - ・認知症予防フォーラム開催
- 【参加機会】**
- ◆ 各地域で自主的にラジオ体操
 - ◆ 筋力レベルアップ教室 6クール 8回講座（6月・8月・10月・12月・2月開始）
 - ◆ 今からはじめる初めてダンス 1クール 8回講座（6月～7月開催）
 - ◆ 自主サークル（あしゅび講師派遣）、楽笑会 ウォーキング講座